

令和7年度 つくばサイエンス・アカデミー事業計画（案）

1 事業方針

研究者相互の交流と知の触発による先駆的新産業領域の創造、研究成果の産業化、科学の啓発などを目的として、研究開発奨励、研究交流促進、研究産業交流などの事業を実施し、もって科学の振興に寄与する。

2 研究開発奨励事業

○「江崎玲於奈賞」「つくば賞」等の顕彰事業

国内又は県内に於いて世界的に評価を受ける顕著な研究成果を取めた研究者に「江崎玲於奈賞」「つくば賞」「つくば奨励賞」の各賞を授与するとともに、授賞式及び受賞者講演会を実施する。

授賞者の決定 令和7年9月上旬(予定)

日 程：令和7年秋(予定)

場 所：つくば国際会議場

3 研究交流促進事業

○SATフォーラム

会員やその家族、一般の参加も広く呼びかけ、最先端の研究や話題の研究を行っている研究者、著名な研究者を招いてフォーラムを開催する。

日 程：令和7年7月16日(水)

場 所：つくば国際会議場 Leo Esaki メインホール

講 師：総合地球環境学研究所所長/元京都大学総長
山極 壽一 先生

演 題：ゴリラから学んだ人類の過去と未来

参加費：1,000円(会員とその家族、学生は無料)

○SATつくばスタイル交流会

広く会員以外の方にも参加を募り、サイエンス&アートをテーマに、講演会と音楽鑑賞会などを組み合わせた交流会を開催し、SATの周知と市民との交流を促進する。

日 程：令和7年11月29日(土)

場 所：つくば国際会議場 中ホール 200

講 師：国立研究開発法人物質・材料研究機構 理事/フェロー/
ナノアーキテクニクス材料研究センター長
谷口 尚 先生(2024年度つくば賞受賞)

アートの部：チェロ・バイオリン・ヴィオラの弦楽トリオコンサート

参加費：500円(会員とその家族、学生は無料)

○研究情報交換会

研究者の新しい発想につなげるため、毎回テーマを決めて2~3人の研究者による研究状況報告と参加者との意見交換などを行う分野横断的な小規模交流会を開催する。

○サイエンス・シニアサロン in Tsukuba

退職したシニア研究者・技術者あるいはサイエンスに関心のある方々を対象にしたサロンを開催し、講師が様々な研究分野の話題について、自由な討論を通じて参加者の知的触発や人的交流を図る。

○つくば科学・技術産業イニシアティブの共催

「つくば科学・技術産業イニシアティブ」を科学・技術産業イニシアティブとの共催により隔月（年6回程度）で開催し、異分野交流の強化に務める。

4 研究産業交流事業

○テクノロジー・ショーケース

つくばの各研究機関等と連携して、様々な分野の研究者による研究発表を通じて研究者と企業との交流を深め、知の触発による研究内容の向上、研究成果の実用化、ビジネス化を促進する。

日 程：令和8年1月22日（木）（予定）

会 場：つくば国際会議場

協力機関：産業技術総合研究所

プログラム（例）

- ・ポスター発表
- ・特別講演
- ・企画展示、共催機関広報展示 等

5 会員の加入促進について

魅力のある事業を展開することにより会員の加入促進に努める。

6 広報活動

- ・会誌の発行(年2回)・賛助会員の紹介
- ・ホームページの運営 (<https://www.science-academy.jp/>)

7 運営会議、総会

令和7年7月 第1回運営会議、総会

令和7年度 つくばサイエンス・アカデミー収支予算(案)

(単位：千円)

項 目	R 7 当初(a)	R 6 当初(b)	増減額(a-b)
事業活動収入			
補助金等(茨城県から)	6,376	6,260	116
負担金(テクノロジー・ショーケース)	2,830	2,780	50
会費	4,394	4,522	△ 128
賛助会員	3,500	3,700	△ 200
個人会員	894	822	72
雑収入(参加費等)	195	245	△ 50
参加費等	195	245	△ 50
受取利息			0
他会計からの繰入金	5,698	4,990	708
当 期 収 入 合 計	19,493	18,797	696
事業活動支出			
研究・交流促進事業	14,204	13,618	586
給料、賃金	10,386	10,040	346
福利厚生費	50	50	0
諸謝金	770	770	0
旅費	150	120	30
印刷製本費	70	50	20
消耗品費	80	80	0
会議費	510	540	△ 30
通信運搬費	110	110	0
食糧費	10	10	0
手数料	30	30	0
広告宣伝費	820	800	20
賃借料	1,070	870	200
負担金	88	88	0
雑支出	60	60	0
テクノロジー・ショーケース運営事業	5,289	5,179	110
旅費	20	20	0
消耗品	30	20	10
会議費	215	215	0
通信運搬費	70	70	0
食糧費	300	300	0
委託費	2,300	2,300	0
広告宣伝費	350	350	0
租税公課	1	1	0
賃借料	2,000	1,900	100
雑支出	3	3	0
当 期 支 出 合 計	19,493	18,797	696
当 期 収 支 差 額	0	0	0

※主な増減について

収入 ・会員の減少による収入の減及び支出の増加により、他会計からの繰入金を増額している。

支出 ・人件費の増及び室料の改定により増額している。